

東日本大震災 医療支援「こころのケアチーム」 第15班 活動報告

期間 6月14日(火)～6月17日(金)

場所 岩手県大船渡市

多田光宏 藤田さかえ 間雅子

第15班の活動状況

- 第14班からの活動引き継ぎ
- 医療チーム、保健師の方々との情報交換
- 避難所、仮設住宅、自宅への訪問
- 大船渡病院で開催された地域精神保健ミーティングへの参加、情報交換
- 資料、書類の再整理
- アルコール問題の方に対しての関わりについての保健師の方とのカンファレンス
- 自助グループについては今回開催されず

大船渡の変化

- 仮設住宅への入居がすすむ
- 岩手県大船渡保健所で「こころの相談室」が合同庁舎において開設された
- 自立のための諸手続きなどで被災者の方も多忙
- 地域医療機関や薬局などの情報は地方紙にも掲載される
- 商業施設なども徐々に復旧

大船渡市街の様子



大船渡中学より



魚市場

仮設住宅の様子



各住宅への心配り



車椅子対応の玄関

陸前高田



大船渡病院での合同ミーティング

- 県立のクリニックとして、大船渡病院および高田病院が協力して「震災こころのケア外来（仮）」の開催を検討する
- 現在こころのケアチーム（久里浜・沖縄）の担当している症例を徐々に県保健所・地域保健師の方へと移行を検討する

考察

- 今まで以上に地域資源や医療機関との分担・協力が必要
- 住民の精神科医療に対するの抵抗感
- 精神科医療機関の少なさ
- アルコールに親和性の高い地元文化

被災地の復興と皆様の御快癒を
心よりお祈り申し上げます

